

三條市の厚生施設を訪れて

白根町社会福祉協議会委員 佐川喜一郎

十二月九日、久しぶりによく晴れがあり、初冬の柔かい朝の陽射しがふくよかに窓をひたす。殆んど私共一行で独占された車内を賑やかな話題が流れるうちに三條へ。

① 県立三條結核病院

三條市郊外信濃川河畔に、近代建築に輝く堂々たる建物と、充実した施設をもつこの病院は、一昨年六月設立され、約一億円の巨費が投じられたという。病院前を流れる長瀬川に架る全療養患者の希望の橋「全快橋」を渡って受付を過ぎると二階の会議室へ案内された。窓越しに陽が射しこんで暖かい。真正面の裸体の壁画が印象深く目に映る。やがて高橋院長の姿が見え、次のお話を下さされた。

「養護学園」

本年二月、病院内に不幸な児童達が収容されて来た。窓越しに陽が射しこんで暖かい。真正面の裸体の壁画が印象深く目に映る。やがて高橋院長の姿が見え、次のお話を下さされた。

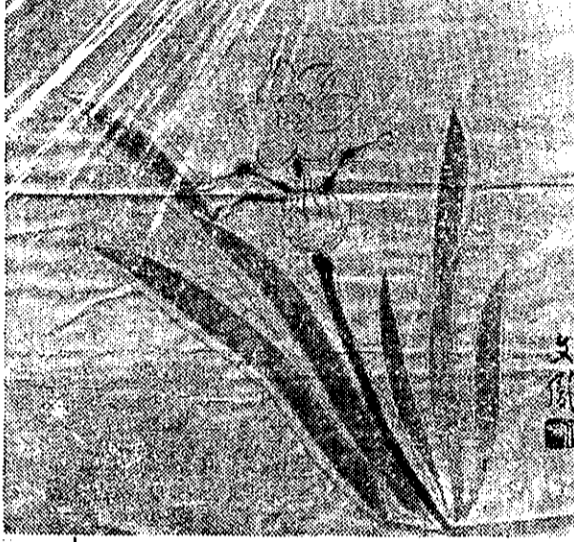
この病院は五棟棟四〇〇ベツトをもち、現在三九七名の患者を収容している。地元の三條、西宮が最も多く各二五%を占める。入院費は月一萬円の内外負担し、その中国保で三分の一を負担しても自己負担は八千円以内で済む。経済的に困難が多い。現在患者の四〇%は医療扶助をうけている。早く社会保障制度が確立されて全額国庫負担になることを希っている。

一先地業機械十日町を視察して

産業部 外川忠治

十日町は、機械工業の中心地として、全国的に好天に恵まれている。十日町は、機械工業の中心地として、全国的に好天に恵まれている。

紙上デッサン展 (6)



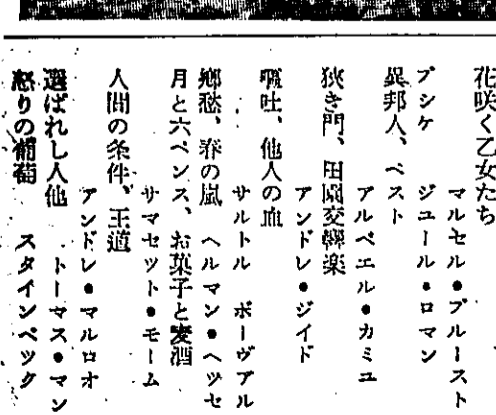
近藤文風
若いころ皆が寝静まった頃又起き出して、無闇と向ふに描きながら親交に叱られたことだんだんを重ねて、今でも筆を握る。

心遣の努力と愛情が養われてきている。施設の内を案内して頂く。手廻しと今工事中の消音機で、これは病院内でも自慢の設備である。総じて病院内に漲る和やかな雰囲気と明るい気持は、心細く陥り易い療養患者の心に、一掃の光を与えることと思つて、程遠くから北郷老人院へ。

三條市立養護老人院
畑とたんぼに開れ、隣りが寺院と無数の墓が立ち並んでいる。寒風には少し遠慮し、しかし養護老人院には至れり尽くせりの環境。これが親心かとチョット暗い気分が胸をかすめる。

今年の産額二十五億円、其の中工業として町民に支払われる金額は十二億五千円であるとのこと。之を見て町全体が如何に思ふか、富裕であるかということが予想できる。

「公営住宅」落成近し
予算約一六〇万円（国庫補助金等）を以つて公営住宅、（一戸建坪十坪）五戸建地内に新築中と、三月月中旬頃竣工する予定。



保護世帯歳末援護
社会福祉事業共が制定されて以来ここに三年の春を迎える事になった。地域社会福祉も其の後進生面を開拓されてきたが、只今の経済状態の逼迫と社会情勢の変化と共に地域福祉事業も更に飛躍せねばならぬと思つて、本報に白根町社協として、皆様の深い理解と御支援を頂き、心から御礼申し上げます。

公民館だより
公民館の図書は、日本銀行新潟支店長清水善俊氏、十二月二十七日、時局講演会を開催した。講師は、中大教授稲葉修先生。

公民館圖書の御紹介 (一)
昭和文学全集 (角川版)
志賀直哉集 宮本百合子集
川端康成集 武蔵小路実篤集
宮沢賢治集 小林秀雄集
谷崎潤一郎集 龍井勝一集
大仏次郎集 安倍龍成集
堀辰雄集 林芙美子集
芥川龍之介集 石坂洋次郎集
横光利一集 山本有三集
寺田富彦集 獅子文六集
大岡昇平・三島由紀夫集
永井荷風集 小林多喜二集
昭和歌謡集 小宮豊隆集
吉川英治集 小泉信三集
夏目漱石集 (別冊)
現代世界文学全集 (新潮社)
ジャン・クリストフ I・II
ロマンス・ロラン
マルテの手記 ロダン
R・M・リルケ
花咲く乙女たち マルセル・ブルースト
ブシケ ジュール・ロマン
異邦人、ベニス アルベル・カミユ
狭き門、田園交響楽 アンデル・ジイド
嘔吐、他人の血 サルトル・ボーヴァル
郷愁、春の嵐 ヘルマン・ヘッセ
月と六ペンス、お菓子と美酒 サマセット・モーム
人間の条件、王道 アンドレ・マルロ
選ばれし人、トーマス・マン
怒りの葡萄 スティンベック